

平成23年度議会報告会実施報告

名寄市議会では、議会基本条例第3章第5条第7項に基づき、7月25日及び26日に市内8カ所で議会報告会を行いました。

今春の市議会議員選挙により議員は6人削減の20人となりましたが、昨年までの各13人2班体制から、各5人4班体制とし、実施会場も地域連絡協議会単位に風連地区を加えて8カ所に拡大、従前にも増してきめ細かな議会報告会となりました。

市民の皆さんの参加も8カ所で122人と、昨年の倍近い数字となり、出された質問、意見、要望は71項目に及びました。改めまして参加いただいた市民の皆さんに心から感謝を申し上げます。

また、議会では報告会終了後、各班の実施責任者による報告を行うとともに、正副議長と実施責任者による会議を開催し、市民の皆さんの声を市長に届けるべく、内容を精査して8月15日、黒井徹議長、佐藤勝副議長が8項目についての市長見解を求めるべく要請書を提出したところです。

本来であれば議長に提出された各班の実施報告書を掲載するところですが、実施概要に重複があったとともに、文言整理もさせていただき、質疑、意見、要望については主なものを掲載させていただきますことにご理解を賜りたいと存じます。

なお、より細かな報告書の閲覧をご希望される場合は、議会事務局へお申し出ください。



<議会報告会 実施概要>

【班編成】 ◎は実施責任者

- 1班 黒井 徹 (議長)
高橋 伸典 (総務文教常任委員会副委員長)
◎佐藤 靖 (経済建設常任委員会委員)
川村 幸栄 (市民福祉常任委員会委員)
山田 典幸 (経済建設常任委員会委員)
担当地区 智恵文多目的研修センター 7月25日午後6時
名寄市総合福祉センター 7月26日午後6時
- 2班 ◎佐藤 勝 (副議長・総務文教常任委員会委員)
山口 祐司 (経済建設常任委員会副委員長)
日根野正敏 (市民福祉常任委員会副委員長)
宗片 浩子 (総務文教常任委員会委員)
川口 京二 (市民福祉常任委員会委員)
担当地区 名寄市民会館 7月25日午後6時30分
風連地域交流センター 7月26日午後6時30分
- 3班 ◎竹中 憲之 (経済建設常任委員会委員長)
谷内 司 (市民福祉常任委員会委員長)
熊谷 吉正 (経済建設常任委員会委員)
東 千春 (市民福祉常任委員会委員)
大石 健二 (総務文教常任委員会委員)
担当地区 名寄市民文化センター 7月25日午後6時
17区福祉会館 7月26日午後6時
- 4班 駒津 喜一 (総務文教常任委員会委員長)
◎植松 正一 (総務文教常任委員会委員)
佐々木 寿 (経済建設常任委員会委員)
上松 直美 (経済建設常任委員会委員)
奥村 英俊 (市民福祉常任委員会委員)
担当地区 東部地区集落センター 7月25日午後7時
名寄東小学校多目的ホール 7月26日午後6時30分

【概 要】

今年の議会報告会は、限られた班人数の中で実施責任者、記録、司会、報告者を決める一方、各地域連絡協議会の代表者と実施に当たっての協議、人集めなどと各議員がそれぞれ役割を担って取り組んだ。

各会場には開始時間の1時間前に集まり、机や椅子などを並べるなど準備も自分たちで行った。

報告会は、班代表者のあいさつ、出席議員の自己紹介にはじまり、まずは報告として①議会の1年間の報告（定数削減と自粛選挙、新議会の構成、行政視察、政務調査費）②23年度予算の概要及び22年度決算概要について③定例会及び臨時会審議状況について④各委員会の状況について⑤市の重要施策の状況について（仮称・複合交通センター整備事業、名寄市立食肉センター及び農畜産物加工施設整備事業）一を行い、その後質疑及び意見聴取に入った。

【主な質疑】

各会場での主な質疑は次の通り。

{1班 智恵文多目的研修センター会場 参加11名}

◎ 智恵文多目的研修センターについて

問 智恵文地区の敬老会対象者は、住民の2割に当たる152人となっているが、対象者から「会場に行くのに階段があり、上がれない」という苦情がある。エレベーターを付ける配慮があっても良いのではないか。

問 智恵文多目的研修センターは、建設から30年以上経過している。地域の要望で、2階にトイレを増設してもらったが、座りトイレがまだある。保育所も同居しており、洋式トイレ化をしてほしい。

問 智恵文多目的研修センターは、暖房施設も老朽化しており寒い。暖かいに会議室に改善してほしい。

問 今、公共施設のほとんどは土足で出入りができるが、智恵文多目的研修センターは土足厳禁だ。靴を履くのも大変な高齢者も利用しており、土足で利用できる施設にしてほしい。

問 智恵文多目的研修センターに保育所（22人通所中）を併設しているが、トイレが和式であり、洋式に変えてほしい。また、温水施設が無いので、温水が出る施設もほしい。

答 智恵文多目的研修センターの老朽化は認識している。住民の皆さんの

要望としっかり受け止める。智恵文地区の基幹施設として、将来的見地を含めて考えてみたい。

◎ 智恵文支所前の大木について

問 支所の入り口にタモの大木3本をはじめ、シラカバ4～5本、マツの木があるが、枝からの雪が隣接民地に落ちるし、根が隣接住民宅の納屋や住宅の下まで張り巡っており、苦情がある。市は、市の財産であるとして切ることに難色を示しているが、対応が必要ではないか。

問 保育所でも、この木によって保育所農園の畑興しに支障があるし、木の落下も心配。

意見 しかし、歴史のある木々をただ切ってしまうて良いのか。

答 実態を調査し、先ほども述べた智恵文多目的研修センターの将来像を含め、周辺も考えてみたい。

◎ 道路整備について

問 昨年7月29日の大雨で、農地に水が上がるとともに、川底も下がった。地域によっては暗渠パイプも流されてしまった。市は「お金がない、予算がない、人がいない」と対応していないが、やるべきことはやらなければならないのではないか。

問 智恵文地区には砂利道も多く、整備をしてほしい。

問 昭和通り、イオン前周辺ではトチの木の葉が邪魔して信号が見づらい所がある。しっかり管理してほしい。

問 高規格道路に併走している山形神社横の道路が狭い。時間帯によっては交通量も多く、事故防止のためにも対応をしっかりとしてほしい。

答 昨年大雨による被害については、当時の経済委員会でも調査を行っている。また、市としても積極的に復旧に努めてきたが、議会としてもさらに調査を進めたい。昭和通りなどについても実態を調査し、求めるべきは市に求めたい。

※ 質疑では要望が多かったが、来場者に対しては『議会報告会で出された要望や意見については、正副議長に報告し、正副議長の判断で行政に要望すべきものは、文書で市長に要望する』として理解を求めた。

{1班 名寄市総合福祉センター会場 参加21人}

◎ 過疎化対策について

問 名寄市の人口構成は、0～16歳5700人、一方70～80歳62

14人と乱れている。若い人が少なく、高齢化率は27%。何らかの対策が必要ではないか。国の制度には批判もあるが、名寄市独自の子ども手当等も必要ではないか。

答 以前は、若い人の働く場の確保のため企業誘致を求める声も多かったが、企業誘致は難しい時代となった。今、加藤市長はひまわりを活用した新たな取り組みも行っているし、安心して子育てができる環境の創出に努めている。名寄は東洋新報社が実施している住み良さランキングでも上位にランクされており、これを市民の皆さんが実感できる対応も求めている。

◎ 議員の資質向上について

問 議員の6人減の20人となり、少数精鋭議会となったが、質の向上についてどう対応しているのか。

答 新議会となり、議員個々の意識は高まっているはず。今後も各議員がそれぞれ努力をするものとする。

議員の資質向上は、全道の市で最も早く制定した議会基本条例でも求めている。市の施策もそうだが、条例や施設は作ることが目標ではなく、活かすことが目的。また、資質向上に役立つことも考えられる市長らに付与した反問権をどう使うのか、また討論、討議のあり方をどうしていくのか、これから議会運営委員会で協議していくことになるので、今後の対応を注視いただきたい。

◎ 政務調査について

問 各会派で政務調査費を活用して、政務調査を行っている。近年問題となっている政務調査費を事務所費として使うことが名寄市議会では無いと思うが、調査の結果をしっかりと行政に反映させてほしい。

問 清風クラブで昨年11月17日から19日に視察を行っている。市が予定している市民ホールにかかわって、先進地を視察したようだが、その内容を知りたい。

答 行政調査は、各常任委員会で行うものと各会派で行うものとあるが、それぞれ問題意識を持って実施しており、視察の成果については議長に報告している。

また、本会議での一般質問、常任委員会審査、議員協議会などにおいて、名寄市政に活かすべきことは質疑の中で求めている。会派の視察について、内容を知りたい場合はぜひ議会事務局にご連絡をいただきたい、事務局で対象会派と調整をさせていただく。

◎ 議員の議会出欠状況について

問 議員の議会出欠状況を議会報に掲載すべきではないか。

答 議事録に議員の出席、欠席については掲載している。議会報に掲載する考えは持っていない。(黒井議長)
議会基本条例では、議員が議会用務を最優先するように求めている。議員個々は十分認識している。

◎ 駅横再開発について

問 駅横再開発は、賑わいを創出することを最優先課題として取り組むとしていたが、賑わいを創出ということにはなっていないのではないか。その中で、なぜさらに8300万円を増額して対応する必要があるのか。

答 賑わい創出はこれからの課題。複合交通センターに入居予定の商工会議所をはじめ、商店街などでこの施設を活用した取り組みを行っていくものと期待しているし、議会としても賑わい創りの取り組みを注視したい。

◎ 民間売却地の活用について

問 駅横スペースのうち、民間に売却した土地の活用はどんどん寂しい案となっている。私は「民間企業にしてやられた」という印象を持っている。多額の税金を投入しているが、最初の意気込みはどうしたのか。

問 名寄駅に列車が着く直前の車窓から見える景色が草むらのままというのはいかがなものか。草むらは害虫の発生源ともなるので、早く対応してほしい。

答 議会として、民間に売却した土地の活用については3者協定書(市、商工会議所、株西條)に基づく早急な対応を議長から求めるとともに、議会全体として付帯決議を行って対応してきた。今後もこの姿勢は変わらない。

民間企業では、土地の活用について検討を続けており、しばらくは対応を見守る姿勢が大切と考えるが、現状のままで推移すれば、いずれかの時期に取り組みを促進することも検討しなければならないのかも知れない。いずれにしても、今しばらく見守ってほしい。

◎ 住民要望の対応について

問 議員に対して、住民から様々な要望があると思う。その中には、町内

会の課題もあろうが、その種の課題については議員個々が動くのではなく、地域町内会の会長に連絡をして対応することが必要ではないか。

答 議会基本条例では、議員の地位を活用しての口利きを禁止している。ご指摘のことは当然であり、より徹底したい。

◎ 東日本大震災の復興を市議会として国に要望を

問 東日本大震災復興に対する政府の動きが遅い。名寄市議会として国に早急な取り組み求められないのか。

答 全国市長会や全国議長会として対応する課題ではないか。名寄市議会として促進決議を行うことも可能だが、議員間での調整が必要。

◎ 道路整備について

問 今年の防じん処理を見ると、整地から20日間で元の道路に戻っている。抜本的な対応が必要ではないか。

答 予算が伴うものであり軽々には言えないが、指摘については認知をしており、調査をしてみたい。

{2班 名寄市民会館 参加2人}

◎ 複合交通センターについて

意見 複合交通センターについては、後世に悔いの残らない形にしてほしい。また、西條には東地区の住民のためにも商業施設を建ててほしい。

◎ 農畜産物加工施設について

問 農畜産物加工施設整備事業について、BSEで問題になった脊髓の焼却についてはどのようになっているのか。

答 再度確認をして報告致します。

※ 危険部位については、ニチロ畜産敷地内の焼却施設において焼却処分している。

◎ 名寄市立大学について

問 名寄市立大学について、名寄市からの財政的な持ち出しはどのようになっているのか、又震災に遭った学生への援助はどうされるのか。

答 市立大学について、市からの財政的な持ち出しは無いとのことですが、震災に遭った学生への援助については、再度確認をして報告いたします。

- ※ 東日本大震災の対応について大学側では、新入学生・在学生に対して①学費等の減免（授業料・施設整備費・教育研究振興費・実験実習活動費は被災の程度に応じて、全額または半額を免除している＝対象6人＝）②名寄市立大学後援会費の減免（＝全額＝）。また、被災学生等の相談窓口を開設しており、現在までに9件9人から相談を受けている。

◎ 名寄市立病院にかかわって

問 名寄市立病院について、今後いっそうの充実を図ってほしい、また、ドクターヘリの名寄市での利用状況については、どうなっているのか。

答 ドクターヘリの利用状況については確認をして報告致します。

- ※ 今年4月～7月までの道北ドクターヘリ運航状況では、名寄市立総合病院からの搬送はないものの、同病院への搬送は稚内市から6件のほか、士別市、中川町、雄武町、中頓別町から各1件、合計10件あった。

◎ 清掃センターの煙突について

意見 清掃センターの煙突について、出来るだけ早く解体してほしい。

◎ 農業委員会委員の議会推薦について

意見 農業委員会の議会推薦については、女性の推薦にして良かったと思う。

{2班 風連地域交流センター 参加21人}

◎ 風連地区の公共施設使用料について

意見 風連地区施設使用料金について、改定によって使用料金が高なるし、5、6人の少人数では利用しにくくなる。今までと同様に年間券を残すことはできないか。名寄地区には福祉センターなど無料の施設や公設の老人クラブなど風連地区との違いがある、もっと住民の意見を聞いてほしい。

◎ 望湖台センターハウスについて

問 廃止後はどうなるのか。

答 センターハウスについて平成22年度での廃止は決まっているが今後の対応として、現在の利用客などに対し、一年間をかけて検討するとしているので、その後の経過等について確認する。

- ※ 老人クラブ例会場の確保、バス利用(送迎方法)、施設の民間移譲の可能

性一などの課題について、総合計画・後期計画の重点課題となっているとともに、なよろ温泉サンピラーのリニューアルを含めて検討している。

◎ 地域福祉計画にかかわって

問 地域福祉計画のアンケートの結果はどうなったか、又合併後、住民と行政との距離が遠くなったように思うが今後のサポート体制をしっかりとって欲しい。

答 アンケートの結果についてはまだ知らされていないが、サポート体制については重要と認識している。

◎ 風連庁舎について

問 風連庁舎 3 階の利用について、今後どのように使用されるのか、市民にとって有効に利活用されるようにしてほしい。

答 有効な活用が必要と認識している。

◎ 道の駅について

問 なよろ道の駅について、現在の直売所は外との間仕切りが無く春先や秋口はとても寒い、何らかの対策をしてほしい。

答 生産者団体からも要望がでていて、市でも対策を検討していると聞いている。

◎ その他

意見 今年度は箱物予算が多いようだが市民の負担にならないようにしてほしい。

意見 名寄市の人口も 25 年後には 2 万人にまで減少すると言われている。今後の定住対策をしっかりとやるべきだ。

{3 班 名寄市民文化センター 参加 22 人}

◎ 道路の補修について

問 かつて道路や橋の補修で市議会議員に依頼して直してもらっていた経緯がある。最近もそうしたケースがあるのか。

答 道路整備等は総合計画などに沿って維持管理を進めている。議員を通してということだが、議員は定例会の一般質問などで道路施策について質している。また町内会と議員が共に補修等を求めていくのも手立てのひとつ。

◎ 市政への要望について

問 まちづくり懇談会では事前に要望を上げれば、当日会場で回答書が用意されている。市議会議員に要望を上げた場合はどう対応するのか。

答 町内会等の要望は、議員と共に市へ上げていくのも良いのでは。

◎ 仮称・複合交通センターについて

問 駅横の複合交通センターは、なぜここまで長引いているのか。

答 現在、名寄市と商工会議所、(株)西條の3者で駅横開発に向けて詰めを回しているが、テナント（店子、事業参入者）が見つからないなどの課題についての協議が今日に至っている。

◎ 市民会館について

問 よく利用している市民会館は、今後どうなるのか。

答 ホールは文化センターに仮称・市民ホールとして併設され、貸室は駅横の複合交通センターに設置される予定。

問 仮称・市民ホールの構造は。

答 今のところ、具体的な決定に至っていない。今後、基本設計がまとめられた段階で明らかになる。

◎ 町内会活動（敬老会補助金、映画券の販売）について

問 時期的に敬老会の季節だが、敬老補助金が2,000円から1,500円に減額され、持ち出しを余儀なくされるなど敬老会運営が厳しい。見直しの検討が必要ではないか。

答 敬老会補助金については実態調査が必要という観点から、ご意見ご要望として承ります。

問 町内会には市から広報の配布など業務が委託されているが現在、上映中の映画券の販売まで委託するのは行き過ぎではないか。

答 映画チケットの販売については、町内会によってPRなど対応もまちまちだが、貴重なご意見として承ります。

◎ 定期健康診断について

問 社会保険（任意継続）の定期健康診断で指定先の市立総合病院に予約を申し込んだら、来春になると言われた。受付によると、年内は市の職員で満杯のためと言っていた。市民の健康管理面から、どうも納得がいかない。

答 市立総合病院にもそれなりの事情があると思うが、同院の健診の実態を議会としても確認する。

※ 名寄市立病院の検診（人間ドック）は現在、週2回（火曜日と木曜日）8人ずつ受け入れています。このうち、半数の4人ずつを一般と市職員で分けていますが、ここで言う市職員とは病院職員のこと、市長部局職員については同病院以外で受けることとなっています。病院職員を同病院内で行っていることは、診療体制に影響を与えないためです。なお、現在の状況では一般男性については来年2月、女性は12月の予約が可能です。

◎ 福祉バスの復活について

問 いつの間にか福祉バスが廃止されていた。新制度では、借りるために利用料や予約が必要などの制約が多くて、とても不便だ。

答 元に戻せないか、というご意見ですね。これまでも議会で取り上げられており、問題は財政との兼ね合いになります。議会として、ご意見を受け止める。

◎ 議会報「議会だより」について

問 市議会発行の議会だよりで、議会の状況等を知ることができて大変参考になっている。この議会だよりを保存するうえで、閉じ穴を市の広報と同じ向きにしてほしい。

答 市と議会報特別委員会に伝え、検討したい。

{3班 17区福祉会館 参加16人}

◎ 市営住宅について

問 新北斗団地の建設工事が行われているが、既存の団地はどのようになっているのか。

答 新北斗団地の工事は、屋根などの基本的な構造はそのまま利用して2戸建てを1戸にする建替え工事で、計画では現在の半数になる見通し。

問 市営住宅の建設よりも、むしろ名寄市立大学の学生寮や寄宿舍建設を検討してはどうか。

答 市営住宅の建設は、国等の補助金で賄われている。市の単独事業であれば、事業の選択が可能だが現状では市営住宅を他の事業に替えるのは困難。

◎ 高齢者専用住宅について

問 特養などの施設に入所する前段階として、高齢者専用の高機能住宅の建設が必要ではないか。

答 入居ニーズの把握も含め、介護保険料の増額につながるなど市民の皆さんとの合意形成が必要になる。貴重なご意見として承ります。

◎ 仮称・複合交通センターについて

問 複合交通センターの基本設計を見直した実施設計で8,300万円の増額となった経緯を。都市再生整備事業の民間事業の取り組みでは、3者協議で利活用を図るとしていたが、議会でどのような議論経過があったのか。

答 事業費増額は、一階のフリースペース部分の拡張など設計の見直しによるところが大きい。

市と商工会議所、西條の3者協議では、当初の福祉施設構想の断念に加えてテナントが見つからないなどの課題についての協議が今日に至っている。

問 複合交通センターだけでは人を呼べない。民間事業が活性化につながるだけに期待も大きい。きちんとやってほしい。

答 経済センター機能としての役割を併せ持つ複合交通センターと、民間企業の事業ができるだけ早く完成をみるべきだという点では、議会も同じ共通認識でいる。

問 駅横の開発が都市再生整備事業として形になっていないとすれば、議会として実態把握のために調査委員会を設置してはどうか。

答 ご意見として承ります。

問 複合交通センターに入居する商工会議所の家賃は。

答 まだ正式には決定していない。

◎ 教科書について

問 中学の検定教科書に、偉人とされる外国人の名前が記載されているが、我が国の二宮尊徳や勝海舟などの名が載っていないのはおかしい。

答 ご意見として承ります。

◎ ピヤシリシャンツェについて

問 平成18年に韓国で冬季オリンピックが開催される。日韓等の交流人口の拡大を図るためにも名寄のピヤシリシャンツェの売り込みを要望したい。

答 要望として承ります。

◎ 食肉加工センターについて

問 福島の原発による影響でセンターへの影響は出ているのか。

答 問い合わせが多いと聞いている。

◎ 名寄市立総合病院について

問 医師確保の対策は。

答 手を尽くしているが、厳しい状況にある。

問 東日本大震災で特別交付税などが従来通り交付されるのか危惧している。病院経営にも影響が出るのでは。

答 特別交付税だけでなく、普通交付税にも影響が出るのではと懸念している。

◎ 選挙ポスター公設掲示板について

問 今春の統一地方選挙で設置された選挙ポスターの掲示板を見て、その効果が疑問視されるような場所にも設けられていた。費用対効果を考慮した設置方法の検討が必要ではないか。

答 ご意見として承ります。

{4班 東部地区集落センター 参加12人}

◎ 農村地区の光通信事業について

意見 農村地区と市街地との光通信整備事業等インターネットの利便性において格差が大きく不公平感がある。同じ料金で同じサービスを受けられるよう議会の方から話をしてもらい、市としても何らかの対策を講じてほしい。

答 砺波地区からも同じような要望、意見が出ている。

光通信については、農業関係の担い手対策を含めて、農業振興計画の中で情報を的確に捉えるという観点もあるので、調査したい。

◎ 基盤整備事業のあり方について

意見 中名寄地区は地形上細長い地区で、沢地区も多く、大雨対策として基盤整備事業が膨らんでしまう傾向にある。本来の事業と分けた形での事業計画が必要だと思う。本来、必要な事業をやっていくべきで、市としても出来ることをやってほしい。

答 東地区も昨年からの大型基盤整備事業が始まっているが、共和地区の暗渠関係は今年で終了となった。

道の方も大型予算案とパワーアップ事業について、この地区の振興策としても早急にこの事業が整備することが必要と考える。

貯め水の件についても、しっかり推移を見守る。

◎ 中名寄地区の水道事業について

問 現在は、中名寄は共同飲料用施設による地域水道で受益者負担と市の負担を折半での事業。しかし、高齢化や戸数の減少、さらに施設も老朽化していることから、改修経費等の一戸当たり負担が大きくなってきている。将来的に中名寄地区の水道事業の計画はどのようになっているか。

答 戸別排水では、10基ほどの計画が快適な生活環境ということで実施される。しかし、日進地区でも同じような問題が生じている。今年度の計画ではまだ、中名寄地区の水道事業の計画はなく、市街地の水道管老朽化更新の改修工事が主体となっているのが現況。

問 サルダムダムを利用した中名寄地区の水道事業はどのようになっているのか。

答 今の段階では計画は未定であり、正確な回答は出来ない。

◎ 要 望

要望 前回の補助事業で整備した川の落差溝の法面の鉄線のアミが壊れているので、玉砂利がこぼれている。事業計画に乗せてもらうよう行政側に要望してほしい。

要望 中名寄小学校の街灯を2カ所設置してほしい。

要望 バス停を増設してほしい。

{4班 名寄東小学校多目的ホール 参加17人}

◎ 複合交通センターの雪国対策について

意見 複合交通センターについては、内部よりも雪対策を考慮したものとしてほしい。他の公共施設の今までの屋根の設計での不具合などを考えて、除雪を含め対策をなされるべきでは。

答 現段階では、内部のレイアウト及び床面積等の説明を行政側から受けている。完成予想図を見る限り、構造はRC構造2階建ての無落雪構造の予定。

雪の対策としては、堆積するスペースを設けております。基本設計がこれから実施されるので注視したい。

意見 寒冷地仕様を、議会でチェックしてほしい。雪庇の問題やこれからの公共施設の建設に基本設計できちんと対策をしてほしい。

◎ 北すばるの道路について

問 北すばる天文台までの道路について、バスが通るには狭すぎる。巡回路等対策はどうなっているのか。

答 駐車場の拡張工事を含め、道路の拡幅も計画されている。

◎ 公営住宅に雪庇対策について

要望 無落雪の公営住宅に雪庇防止の鉄板等を積極的に設置して安全対策にもなるので、お願いしたい。

答 ご要望として承ります。

◎ 太陽光パネルについて

問 名寄小学校に太陽光パネルが設置されたが、他の施設等にも今後、計画される予定は。

答 今のところ、新たな設置計画はない。

◎ 東12区の雪印乳業の跡地の利用について

問 雪印乳業の跡地は、市としてどのように考えているのか。

答 現状では、冬場の雪の一時堆積場として、借り上げ契約をしているが、今後、計画はされていない。

雪印乳業跡地にかかわらず、遊休地の跡地利用については今後も大きな課題と考えている。

◎ 議員の資質について

意見 議会の傍聴した時の感想として、議員の一般質問の際、理事者側の答弁は努力していることが覗えるが、議員側はもっと個々の資質向上を図るべき。また、傍聴者にわかるような言葉で明快にしてほしい。

答 ご意見として承ります。

◎ 公営住宅の公益電気料の徴収について

要望 北電の方では、集金の仕方について、以前からの行政側との取り決めて実施していると言われた。この件について確認して、今後の対応を検討

していただきたい。

答 ご要望として承ります。

※ 公営住宅では、個人の住居にかかわる電気料金は個人で負担するとともに、共用部分については全体の電気料金を共用する個人で分担して支払う（代表者に請求）方式を取っています。例えば、共用部分の料金を個別料金に上乗せして請求することは、現状としては難しいものがあります。